

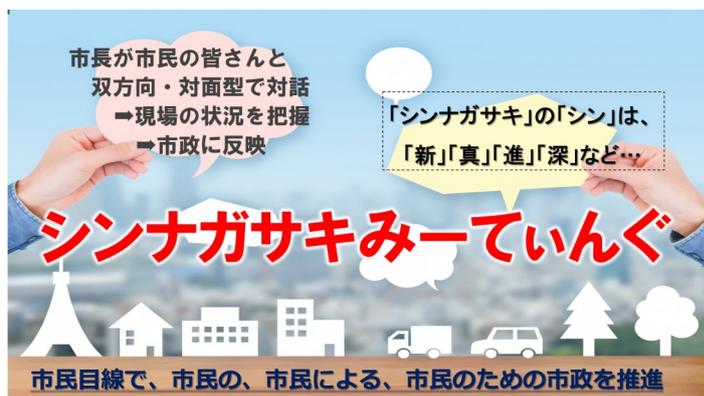
シンナガサキミーティング開催レポート

i n 西北小学校区



令和6年1月20日（土）、自治会やまちづくり協議会、民生児童委員、消防団、高校生など15人の皆さんにお集まりいただき、西北小学校区の「シンナガサキミーティング」を開催しました。

自己紹介では、地域住民2000人以上が集まる「西北まつり」などの地域活動や、若い世帯にも自治会活動の動きが分かるようにSNSを活用した取組み、また、地域で暮らしていく中で感じていることなどをお話いただきました。



いただいたご意見

①点字ブロックの整備について

弱視の人にとって、分かりにくい場所がある。点字ブロックが少なくて歩きづらいと聞いているので、整備してほしい。

市の考え方

回答

当該地区は、現在、通学路の安全対策工事を行っているため、歩道の形状を一部変更しております。

点字ブロックについては、地元からご要望をいただければ敷設可能です。特に、点字ブロックを必要とする方がお住まいになっているなど、必要性の高い場所はなるべく設置するよう調整しております。

②回覧板の配布数について

回覧板を組ごとに配布いただているが、回覧することが難しい高齢者もいるので、余分にもらえないか。

市の考え方

回答

回覧は、原則、班数に会長分1部を追加した数を送付していますが、やむを得ない事情等がある場合は、自治振興課に個別に相談ください。

なお、紙回覧を維持しつつ、電子化を進めることで、回覧する手間を省き、見たいときに情報にアクセスできるようなくみづくりを進めています。

③ごみ捨てマナーの啓発について

ごみ捨てのマナーを徹底するためのリーフレットを市で作成して、各自治会に配布してほしい。

市の考え方
回答

ごみの分別については、各種リーフレットをホームページやリサイクル推進委員の手引きなどに掲載し、ご希望があれば、部数を印刷してお渡しするなどの対応をしております。
また、自治会において特に周知したい内容がありましたら、内容に応じたチラシ等をご要望に応じて作成しておりますので、廃棄物対策課（TEL:095-829-1159）にお気軽にご相談ください。

④自治会要望アプリについて

自治会要望アプリについて、対応状況が分かるようにしたり、要望を継続する場合は、次の年も繰り越せるようなしくみにしてほしい。

市の考え方
回答

自治会要望アプリにおいて、自治会から投稿をいただいた際は、地域整備課が対応可否の判断を入力し、自治会が対応状況を確認できるようにしております。
また、回答内容は、各地域センターで自治会要望アプリを閲覧可能なタブレットか、地域整備課への直接の連絡でもご確認できます。
要望箇所は、危険性、公共性等を考慮して、優先されるものから順に要望していただくことしております。前年度修繕を行わず継続要望となった箇所についても、要望箇所の優先順位が変わっている場合もございますので、毎年ご提出いただくようお願いします。

そのほか、「自治会の加入促進、担い手育成が必要。活動の可視化も必要ではないか」、「行政職員が地域活動に参加しやすい環境をつくってほしい」、「地域の方々が気持ちよく自治会活動に参加していくような仕掛けを考えていきたい」などのご意見をいただきました。



鈴木市長のひと言

地域の皆さんがいろいろなところでお困りのこと、課題を感じていらっしゃる事が改めてよく分かりました。これは全体にも本当に通じる話ですので、いただいたご意見を参考にさせていただき、よりよい市政になるように、努力していきたいと思っております。



参加者からの感想

話しやすい雰囲気があり、色んな意見が出てよかった。市長さんも真摯に受け止めてもらえた。

各分野での話を聞いて良かった。

西北地区の諸々の問題はありますが、やれる人の分母を増やしていきたい。

色々な課題などを共有すると同時に、これからの活動の指針となるような意見を聞くことができ、有意義でした。

